

# 子どもたちが 気づかせてくれること

社会福祉法人ともえ福祉会  
理事長 清水ひとみ



コラム連載 Vol.03

子どもたちから「お茶会ごっこ」の先生と呼ばれる私。法人理事に就任した頃には、これほど熱心に「学校茶道」に取り組むようになるなんて、思ってみないことでした。「学校茶道」とは、若い世代に向けた学校教育としての茶道をいいます。ともえ保育園で「お茶会ごっこ」をしていると聞いて、のぞいてみたのが始まりでした。簡易のしつらいとはいえず、床の間もあり、花と香合が置いてありました。お茶の先生を囲んで、子どもたちはちゃんと「お茶会ごっこ」をしているのです。厳しい中にも楽しそうな様子が見て取れました。立派な「学校茶道」の場でした。

先生は、毎月四十五人分もの茶碗や茶道具、御菓子を用意し、お一人で運び、片づけまでされていました。その姿を拝見して申し訳なく、まずは園で茶碗を用意しました。それから御菓子、抹茶、その他茶道具もそろえて、私もお手伝いさせていただくようになりました。

数年して、裏千家学校茶道指導者研究会への参加の機会を頂き、御家元のお話に深い感銘を受けました。「学校茶道」の目的は、茶道を続けてもらうためだけではなく、茶室に入ると、陶芸、花、炭、菓子、料理、着物、建築、書画、香など、全ての日本文化に触れることができます。茶道は日本文化のポータルサイトだと私は考えています。子どもたちがこのどれかに興味を持ち続けてくれたら、日本文化は磨れないと思うのです。腑に落ちるとはこのこと。こんなにも大きなビジョ



▲「お茶会ごっこ」の様子。毎年11月の口切りの頃、茶臼で抹茶を作る体験をします。

去年9月のしつらい。テーマはお月見。軸、供茶、御菓子、花、香合、陶器、釜敷、畳など、ここだけでも日本文化が満載。



ンに貢献できるなんて、うれしくてワクワクが止まりませんでした。それから十五年。来年一月に完成する新園舎には茶室を設けました。あの素晴らしい描いた「学校茶道」が現実になろうとしています。忙しいけれど面白い毎日です。こんなにも甲斐のあることに携われるなんて…。役職としての理事長だけではなく、子どもたちが「お茶会ごっこ」の先生」にしてくれたんだなあと、心から感謝しています。



地域とかかわりあいながら  
皆様のお役に立ちたい私たちです。

特別養護老人ホームともの家では**愛と感謝**をテーマに  
個人個人が人としての尊厳を持ち、  
社会の中で障害の有無や年齢、性別にかかわらず、  
かけがえのない人としての生活を送ることができるよう支援しています。

ともえ保育園では**夢と希望**をテーマに  
未来ある子どもの育成に力を注いでいます。  
ありがとうございます。ごめんなさい。おねがいします。を  
「仲良く遊べる元気な子」  
を育てます。

社会福祉法人ともえ福祉会は  
「私たちがかわる全ての人が  
幸せだと言える社会をつくる」を理念に、  
ともえ保育園、特別養護老人ホーム ともの家などを運営しています。

私たちがかわる  
全ての人が  
幸せだと言える社会をつくる



社会福祉法人ともえ福祉会

ともえ保育園

〒730-0001 広島市中区白島北町 18-5  
TEL082-228-6088

特別養護老人ホームともの家

〒733-0852 広島市西区鈴が峰町 41-18  
TEL082-270-0145